

ナンカキイロイ チョットミドリ クラウディア・ビルクホルツリサイタル

Something yellow and a little bit green

toy piano & piano & electronics playground---Claudia Birkholz West Japan Recital Tour

2013.5.29[水] 18:00- 京都市立芸術大学大学会館ホール Kyoto City University of Arts, University Hall [入場無料]
[18:00-18:15 ショートレクチャー「ジョン・ケージのトイピアノ音楽」 柿沼敏江]

2013.5.31[金] 18:15- 山口大学演奏講義室 Yamaguchi University Performance & Lecture Room [入場無料]
[18:00-18:15 ショートレクチャー「トイピアノの可能性」クラウディア・ビルクホルツ]

2013.6.2[日] 14:00- 大分 the bridge 大分市中央町3-3-19 tel:097-532-6656 [入場料1500円] *program
[14:00-14:15 ショートレクチャー「トイピアノを弾くこと」クラウディア・ビルクホルツ]

主催：clumusica 京都市立芸術大学音楽学部中村研究室 [nakamura@kcuu.ac.jp 075-334-2363 090-8754-5805]

協力：ブレーメン芸術大学[HfK Bremen] 京都市立芸術大学[KCUA] 山口大学 清水慶彦[大分大学] 企画:中村典子 C.Birkholz

音響：清水慶彦 山口友寛 Visual Design：出原司 後援：日本現代音楽協会 日本作曲家協議会 京都市立芸術大学音楽学部

皆様からのご寄付全額を東日本大震災の被災地に日本赤十字社を通じてお届けいたします。

*All contributions will be donated to those who suffered so greatly from the disasters, with assistance from the JAPANESE RED CROSS SOCIETY

クラウディア・ビルクホルツ Claudia Birkholz(1962-Germany) : ナンカキイロイ チョットミドリ
Something yellow, a little bit green(2007) [piano, toy-piano & electronics]*

池上敏 Satoshi Ikegami(1949-Japan) : 黄印小品 Yellow Marked Piece(premiere) [toy-piano]*

野澤和代 Kazuyo Nozawa(1945- Germany) : 秋の祈り Herbstgebet (2010) [piano]*

チック・コリア Chick Corea(1941- U.S.A) : 子どもの歌 Children Songs [piano & toy piano]

シャーライ敷地文江 Fumie Shikichi-Sarai (1964-Germany) : King Kong...Kang (premiere) [toy-piano]*

十河陽一 Yoichi Togawa(1959- Japan) : 三つの小品より 第二楽章 Andante cantabile (from 3 piano pieces) [piano]

ジョン・ケージ John Cage(1912-1992 U.S.A) : 組曲 Suite for toy piano (1948)[toy-piano]*

中村典子 Noriko Nakamura(1965- Japan) : 桃雲 Pink Cloud (premiere) [toy-piano・piano&breath・strings&electronics]*
guest player: 麻植美弥子[京都・山口] 麻植理恵子[大分] 田呈綾[all]

山口友寛 Tomohiro Yamaguchi(1983-Japan) : ソルファ・ソング Sol-fa Song (premiere)[piano&electronics]*

酒井信明 Nobuaki Sakai(1976- Japan) : 即興曲、子守唄とスケルツォ Impromptu, Komori-Uta, and Scherzo
(premiere) [toy-piano]*

ローベルト・HP・プラッツ Robert HP Platz(1951 Germany) : 線香花火 Senko-hana-bi [piano]

池田真沙子 Masako Ikeda(1983- Japan) : スウィフトウィンクル swiftwinkl (premiere)[toy-piano&piano]*

増田真結 Mayu Masuda(1981- Japan) : 時/罫 Time / Space (premiere) [piano]*

清水慶彦 Yoshihiko Shimizu (1977- Japan) : 透写、落下する水 Tracing, the waterfall (premiere) [toy-piano]*

ユリア・ヴォルテ Julia Wolfe (1958 Germany) : 東大路 East Broadway (1996) [toy-piano&toy-boom-box]

田口雅英 Motohide Taguchi (1971-Japan) : トイ・メロディー Toy Melody(2010)[toy-piano]

近藤浩平 Kohei Kondo(1965-Japan) : 坊さんの気晴らし Priest's recreation(2010)[toy-piano]

南川弥生 Mio Minamikawa(1958-Japan) : 月雫 moon drops (premiere) [toy-piano]*

ゲオルグ.F.ハース George Friedlich Haas(1953-Austria) : 影絵芝居 Ein Schattenspiel(2004)[piano & tape]*



クラウディア・ビルクホルツは現代の作曲家達の作品を発見し演奏に全力を捧げるプレーメン生まれのピアニスト。マルコ・シリアーニ、ブルクハルト・フリードリッヒ、ハンス・ヨアヒム・ヘスポス、ハンス・オッテなど多数の作曲家が彼女のために作曲している。国際的に著名なハンス・オッテは彼女をこう評している「素晴らしい音のセンス、創造的な表現能力の確信に満ちた絶対性」ピアニスティックにも音楽的にもアーティストックにも新しい局面を動かす彼女は、ジョン・ケージやカールハイッツ・シュトックハウゼン、メレディス・モンクなど、パフォーマンスシーンの型にはまらない作品の入り口であろうとする。聴衆に非通常の音響経験を感作させ、コンサートをリアルな冒険にする。2002年から自身の作品も作曲・演奏し始め、鍵盤上、ピアノ内部、トイピアノや音源音響に関わらず彼女は、指先で完全な陰影をつくるだけでなく、すべてを超え、聴衆の心に象を結ばせる。プレーメン芸術大学でクルト・ザイベルト教授、またK.H.ケーミング、V.マルガリス、E.レオンスカヤ、G.ムニエ(パリ)C.エルフェ(パリ、現代音楽)の諸氏のもとで研鑽を積み。多数の賞、助成、奨学金を得、プレーメン劇場の客員演奏契約を結ぶ。2002年より2007年、アンサンブルアンテグラルのメンバーとして活躍、ボーデン湖音楽祭、シュレーヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭、ベルリンフェスティバル、ガウデアムス音楽週間、ブレゲンツァー音楽祭、ブルデンツァー現代音楽祭、エクスパンフェスティヴァル、ドレスデン現代音楽祭、ハノーヴァー現代音楽の日、メシアンフェスティバル、デュッセルドルフ、プロムジカノーヴァ・プレーメンなどで演奏。コンサートツアー・ワークショップをベルギー・デンマーク、フィンランド、オランダ、イラン、アイルランド、モンゴル、日本、オーストリア、スウェーデン、スイス、アメリカ等で開催。SWR、WDR、NDR、DRS、ORFなどの放送局で多数放送。9枚のCD。2007年の来日時には京都芸大学生会館ホールでプリペアドピアノのワークショップと共に行われたコンサート「西と東のアカリウム〜ジョン・ケージ&ハンス・オッテ〜」では、一柳慧、安真娘、L.ベリオ、清水慶彦、中村典子の作品によりトータルプログラミングされた東西の水の時空間を鮮やかに演出した。1993年よりプレーメン芸術大学で教鞭を取る。

池上敏東京芸術大学音楽学部作曲科卒、同大学院音楽研究科(修士課程)作曲専攻修了。故池内友次郎、故矢代秋雄、故松村慎三、永富正之、間宮芳生他各氏に師事。京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師、京都市立堀川高等学校音楽科教諭(在職当時)などを経て、現在国立大学法人山口大学教育学部教授。

野澤和代東京芸術大学声楽科卒業、ウィーン音楽大学作曲科卒業。オーストリア文部科学大臣賞。1978年プレーマーハーフェン市立劇場アンサンブル所属、定年退職まで務める。GEDOK作曲コンクール、Teatro Angelicum管弦楽作品コンクール、「trio basso作曲コンクール」受賞。プレーマーハーフェン在住。

チック・コリア:アメリカのピアニスト、作曲家、ミュージシャン。ジャズ・ディスク大賞金賞。「アルティメット・アドヴェンチャー」で2007年グラミー賞2部門受賞。「ホットハウス」で2013年グラミー賞2部門受賞。

シャーライ敷地文江:神戸女学院大学ピアノ専攻卒業。プレーメン芸術大学作曲研究課程修了。ピアノを今井寿子、池田洋子の各氏に師事。作曲を鈴木英明、ヨング・バク=パーンの各氏に師事。ヴァイエ市教会オルガニスト。ドイツマルシア音楽学校にて現代音楽、ピアノ、ソルフェージュを指導。北ドイツ・メルドルフ在住。

十河陽一:京都市立芸術大学音楽学部作曲専攻卒業。欧米を中心に中南米、東アジア20ヶ国70都市を超える地域での委嘱初演、作品演奏、出版など国際的に活動。99年ベスカラ国際作曲コンクール(イタリア)審査員。パロクザール賞受賞。日本作曲家協議会会員。京都市立芸術大学卒業。故廣瀬量平、藤島昌寿、前田守一の各氏に師事。

ジョン・ケージ:アメリカ合衆国出身の音楽家。作曲家、詩人、思想家、キノコ研究者。実験音楽家として、前衛芸術全体に影響を与えている。独特の音楽論や表現によって、音楽の定義をひろげた。「沈黙」をも含めたさまざまな素材を作品や演奏に用いており、代表的な作品に『4分33秒』がある。

田口雅英:大阪教育大学卒業、茨城大学大学院修了。松永通温、松尾祐孝、早川和子の各氏に師事。1999年第16回日本現代音楽協会作曲新人賞に入選し、作曲活動を始める。日本やアジアの伝統音楽の要素を自作品に反映させる事に興味があり、伝統音楽の構造の応用や、儀礼的要素の導入等、様々な手法を試みながら作曲活動を続けている。

近藤浩平:関西学院大学文学部美学科にて音楽学を学ぶ。作曲は独学。2010年ベルリン・ドイツ・オペラ(Klang der Welt Ostasien(世界の音・東アジア))作曲コンクール第2位(室内楽)。2006年にはピアノ協奏曲が関西フィルによって初演。東日本大震災の追悼作品《海辺の祈り〜震災と原子炉の犠牲者への追悼》は国内外で頻りに演奏されている。左手の為のピアノ曲は智内威雄氏、館野泉氏のレパートリーとして演奏機会が多い。

南川弥生:大阪音楽大学卒業。同専攻科修了。作曲を乾堯氏に師事。マルセルジョス国際作曲コンクール第2位入賞。《Diptyque》がCD『LIFTING』収録、ヨーロッパで発売。神戸国際音楽祭、京都若い作曲家による連続作品展等出品。07年「第1回 ICTM(国際伝統音楽学会)上海音楽院」において等のための《水鏡》発表。大阪音楽大学講師。

ローベルト・HP・ブラッツ:ドイツ現代音楽の作曲家、指揮者。シュトックハウゼンのダンサーとオーケストラのためのINORIの工房制作に携わる。複数の作品のパラメータ関係を鎖のように編みあわす「フォーム・ポリフォニー」という概念に到達。現在、マースリト音楽院で教鞭を取る。ケルン在住。リコルディ・ミュンヘンから楽譜が出版されている。

山口友寛:京都市立芸術大学卒業。現在、同大学修士課程に在籍。大学派遣によりプレーメン芸術大学に交換留学。第5回TIAA全日本作曲コンクールにて審査員賞を受賞。コンピュータ総合学園HALにてコンピュータによる商業音楽制作全般を学ぶ。松本日之春、前田守一、中村典子、藤島昌壽、ヨング・バク=パーンの各氏に師事。

酒井信明:1976年兵庫県生まれ。大阪芸術大学音楽学科を経て京都市立芸術大学音楽学部作曲専攻を卒業。在学中、松永通温、中村典子の各氏に師事。2011年第28回現音作曲新人賞受賞。毎日即興演奏を録音してはネットに上げることを日課としている。
<http://clavichord.seesaa.net/> <http://improv12.seesaa.net/>

池田真沙子:京都市立芸術大学音楽学部作曲専攻卒業。これまでに、中村典子、前田守一、松本日之春の各氏に師事。現在、ヤマハ音楽振興会講師として、こどもの作曲指導に携わる。アコーディオンの為の作品、朗読劇とのコラボレーション、トランペットとコントラバスの為のシアターピースなどを発表。アコーディオン作品は2011年ドイツ・エッセンにて初演された。

ユリア・ヴォルテ:アメリカの作曲家。作品は聴衆に極度の集中を要求し、極度の身体性と容赦ない力で識別される。ニューヨーク大学スタインハルト校音楽監督[作曲]。

ゲオルグ・F.ハース:オーストリアの現代音楽の作曲家。スペクトル楽派。パーゼル音楽大学で作曲クラスの教鞭を執る。また、ルイジ・ノーノ、イワン・ヴィシネグラツキ、アロイス・ハーバ、ビエール・ブーレースについての論文が出版。グラーツの作曲家集団Die andere Seiteの創設メンバー。パーゼル在住。

増田真結:京都市立芸術大学を経て同大学院修了。プレーメン芸術大学へ交換留学。同大学院音楽研究科博士(後期課程)に在学中。東京国際室内楽コンクール第3位。現音作曲新人賞、第15回・第18回奏楽堂日本歌劇コンクール作曲部門第2位。日本音楽コンクール作曲部門入選。<Klanginstallation>に作品招待。作曲を港大尊青島広志、佐藤真、松本日之春、前田守一、中村典子、ヨング・バク=パーン、岡田加津子の各氏に師事。神戸女学院大学非常勤講師。

清水慶彦:京都市立芸術大学大学院博士課程修了。博士号(音楽)取得。作品集CD『六相円融』(studio N.A.T)が『レコード芸術』誌で推薦盤に選定。アンサンブル・リユネットCD『エイト・レンゼス』への楽曲提供、著書『黛敏郎の電子音楽』(共著)、松永通温、松本日之春、前田守一、中村典子、ヨング・バク=パーンの諸氏に師事。京都市立芸術大学非常勤講師、同志社女子大学音楽科囃子講師等を経て2012年より国立大学法人大分大学専任講師。

中村典子:京都市立芸術大学を経て同大学院修了。在学中、プレーメン芸術大学へセメスター派遣交換留学。日本、韓国、中国、台湾、中東、ヨーロッパ全域、北米、中米の15カ国各地で作品上演。ハイデルベルク大学音楽学研究所で自作と共に講演。国連憲章50周年記念UNited we Danceサンフランシスコオペラハウス連続公演。第1回小倉理三郎音楽奨学金受給者。京都市芸術新人賞。滋賀県文化奨励賞。故廣瀬量平、北爪道夫、前田守一、藤島昌壽、田島亘、故H.J.カウフマン、G.アミの各氏に師事。シアターピース「生命の舟」、楽舞台「鑑真」「8月の光の祈り」など総合的な舞台上でテキスト、ヴィジュアル、作曲、指揮に至る全てに乗り出す。7回の個展。9枚のCDと1枚のDVD。京都芸術センター運営委員。clumusica共享。コチの会・東風同人。日本現代音楽協会、日本作曲家協議会、東洋音楽学会、国際伝統音楽学会会員。現在、京都市立芸術大学准教授。

